

無痛分娩看護マニュアル

1. 患者準備

- ① 同意書・アレルギーの有無など確認
- ② 産前の病衣（ピンク）に着替えてもらう
- ③ 分娩室でCTG モニタリングを開始する
- ④ 20G で血管確保する
- ⑤ 血圧計、パルスオキシメーターを装着する

2. eLAR 登録

入院時、新規作成で患者情報を登録する

3. 必要物品

- ① CADD-Solis
- ② カクテルセット
CADD カセット 100ml・エクステンションセット・50ml シリンジ・18G 針
生理食塩水 × 2 A
- ③ 硬膜外麻酔セット
セットに 1%キシロカイン 10ml、生食 10ml、ポピドンヨード消毒液 10%追加
- ④ 救急カート・救急薬品

4. 穿刺準備と介助

- ① CTG にて RFS を確認する
- ② 血圧計、パルスオキシメーターを装着しモニタリングを行う
- ③ 硬膜外麻酔セット、カクテルセット、CADD-Solis を準備する
- ④ 硬膜外麻酔セットを清潔に開き、綿球カップにポピドンヨード消毒液 10%、滅菌カップに生食 10ml を入れ準備する
- ⑤ 局所麻酔に使用する 1%キシロカインをシリンジに準備する
- ⑥ マスク・キャップを装着し、麻酔体位の介助する
- ⑦ 患者を左側臥位にし、膝を抱え背中が丸くなるよう声掛け、固定する
ヤコビー線が分かるようにしめす
カテーテル挿入後、背骨にそって平行にカテーテルをテープで固定する
背中をこすったりしないよう、過度に体を曲げないように患者に説明する

5. カクテルの調合

- ① シリンジに 18G 針を付けて、生食を吸う
- ② 0.2%アナペインを吸う
- ③ フェンタニル 2A を吸う
- ④ カセット内に生食→アナペイン→フェンタニルの順番に注入
- ⑤ ルート内にフェンタニルが残らないように、一度シリンジにひいて攪拌する
- ⑥ バッグ内のエアを抜きつつ注入（バッグ破裂の可能性あり）
- ⑦ CADD-Solis に取り付け、初期設定・プライミングを行う

6. 薬剤

低血圧時	ソルラクト 500ml 全開滴下 徐脈傾向…エフェドリン 8 倍希釈の 2ml (10mg) 頻脈傾向…ネオシネジン 10 倍希釈の 1ml
過強陣痛による 胎児徐脈	エフェドリン 8 倍希釈の 2ml (10mg)
局所麻酔中毒	イントラリポス 20%：1 分間で 100ml 投与後、 1000ml/時間で 10 分間投与 痙攣時：セルシン 1A 静注

7. 無痛分娩中のモニタリング

対象	項目	測定頻度
胎児	胎児心拍モニタリング	連続
母体	血圧	無痛分娩開始 30 分間 5 分間隔 無痛分娩開始 30 分以降 15 分間隔
	心拍数	連続
	SpO ₂	連続
	呼吸	連続
	心電図	適宜
	体温	適宜
	コールドテスト	NRS 上昇時 1 時間間隔
	NRS	痛み増強時 1 時間間隔 内診所見進行時
	Bromage	感覚神経ブロック時 他必要時

8. 医師への連絡

- ① カテーテル無効の判断時
(NRS3 以上、麻酔範囲 T10-S を満たさない、麻酔範囲 T5 以上が続く)
- ② Bromage 1～3
- ③ 投薬必要時
- ④ 対処困難な副作用・合併症

9. 患者ケア

- ① ベッド上安静
- ② CTG 連続モニタリング
- ③ イニシャルدوزスタート時から水分・スポーツゼリーのみ接種可能
- ④ 3 時間ごとの導尿
- ⑤ 分娩後、硬膜外カテーテルの抜去（先端欠損がないことを確認）
- ⑥ 帰室時、初回トイレ歩行時には、起立性低血圧や下肢運動麻痺の残存がないことを確認する

10. 無痛分娩管理

無痛分娩の管理は、LA Solutions プロトコールおよび無痛分娩マニュアル、無痛分娩看護マニュアルに従って行う

作成日：2025 年 5 月 24 日